

植生管理特論 (2単位)

担当者氏名 鈴木貢次郎

◆学習・教育目標

植生学とは、植物を集団として捉えていくものである。マクロな視点が優先される。そのスケール感をまず把握する。一方、植生を把握するためのミクロな視点も重要となるので、ミクロな視点を学習し、そこからマクロの視点に展開する。理論と実際を、特に本講では里山を事例として体験的に学ぶ。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植物	植生	生態	管理
里山	リター	生活史	林床植物

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	植物と植生	植生とは何か？を考える。	本講義のねらいは、自然環境における「植生」の視点を持ち、植生の維持管理に役立てるべく力を養う。
2	生態学基礎①	植生管理に必要な生態学基礎を理解する。	
3	生態学基礎②	植生管理に必要な生態学基礎を理解する。	
4	植生調査法①	植生をはかる方法を学ぶ。	
5	植生調査法②	植生をはかる方法を学ぶ。	
6	里山を考える①	里山の現状を理解し、保全する必要性を学ぶ。	
7	里山を考える②	里山の現状を理解し、保全する必要性を学ぶ。	
8	林床の環境①	林床の環境条件（常緑樹林下）を把握する。	
9	林床の環境②	林床の環境条件（落葉樹林下）を把握する。	
10	林床の環境③	林床の環境条件（その他）を把握する。	
11	草地の環境①	草地の環境条件（温度）を把握する。	
12	草地の環境②	草地の環境条件（湿度）を把握する。	
13	草地の環境③	草地の環境条件（光）を把握する。	
14	まとめ	現地調査したことをまとめる。	
15	発表	現地調査したことを発表する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

環境修復の技術/麻生恵・松本清・栗田和弥・鈴木貢次郎/東京農業大学出版会（2007）

地域環境科学概論Ⅱ/東京農業大学地域環境科学部編/理工図書（2002）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

レポートとその発表による

◆その他受講上の注意事項

理論の学習の他に、野外にでることもある。また実験を行う。野帳を準備しておくこと。